

めあて

木版画は簡単な材料と道具で出来る手軽な芸術です。技法を学び、体験することにより、表現の幅を広げていきましょう。

対象：クラス単位・学年単位

対象

小4

小5

小6

中1

中2

版画



授業の流れ（基本プラン）
1～2時限（通常の授業時間）

あいさつ（講師紹介）

講 話

実 演

体 験

鑑 賞

講 話

- ◆講 話◆ 木版画の特徴・製作工程の説明・宇都宮市と版画芸術との関わり
《歴史的背景などについて話をし、身近なものであることに気づいてもらう》
- ◆実 演◆ 下絵作り・彫りなどの行程
用意した彫刻済の版木（色ごとに数枚）で多色摺りの実演をする
《実演を見ることで魅力を感じさせる》
- ◆体 験◆ 用意した版木と和紙で摺りの体験
《自由に表現することで版画に対する関心を高める》
- ◆鑑 賞◆ 作家の作品を鑑賞する
《普段あまりふれる機会のない実物にふれてみる》
- ◆講 話◆ 生活品（ハガキ・カード・おもちゃなど）への応用
家庭で出来る道具について



実 演



版画とは・・・
版（原版）によって紙などに写し取られたものを言います。木を彫って版を作る木版画は、水を使うことで日本の気候によく合っています。
多色版画は表現の幅も広がり、とても楽しいものです。

講 話



体 験



☆実施校からの声☆

・有名な版画家・川上澄生さんが自分たちの身近なところにいることに驚き、また版画は、すぐに彫れて、彫り直しもでき、色々な色を使って摺ることができることに感動していた。